

今般、台湾「設計（意匠）実体審査基準」の改訂があり、2016年4月1日より施行されました。

改正ポイントは、以下の4つです。

**（1）色彩を主張しない設計（意匠）の出願に関する図面の開示方式の変更**

- ・改正前：「設計（意匠）の説明」中に、図中の色彩は権利を主張しない旨記載すれば、色彩のある図面等で開示することができた。
- ・改正後：色彩を主張しない場合は、線図、グレースケールのCG、白黒の写真により、色彩の無い図面等で開示することになった。

**（2）「意匠権を主張する部分」と「意匠権を主張しない部分」を明確に区別するため、区別方法が追加された**



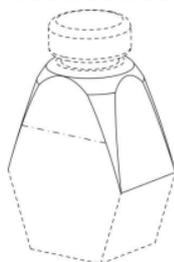
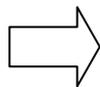
**（3）「意匠権を主張しない部分」の機能に関する変更**

- ・改正前：1) 応用される物品を解釈  
2) その外観と環境との間の位置、サイズ、分布関係を説明する
- ・改正後：1) 応用される物品を解釈  
2) 「意匠権を主張する部分」との位置、サイズ、分布関係を解釈する

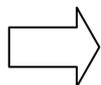
3) 環境を解釈する

(4) 「補正」について、部分設計（意匠）及び画像設計（意匠）の事例を追加

認められない例

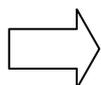


※境界線を追加する補正

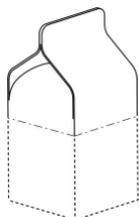
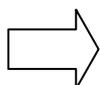
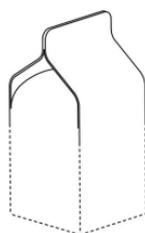


※破線部分を削除する補正

認められる例



※破線を一点鎖線に変更



※一点鎖線を追加